

平成29年度 基本評価調書

| | | | | | | | |
|-----|----------------|------|------------------------|-------|------------|-------|---------|
| 施策名 | 滞在交流型観光地づくりの推進 | 所管部局 | 経済部 | 作成責任者 | 観光振興監 木本 晃 | 施策コード | 05 - 04 |
| | | 照会先 | 観光局観光戦略G (内線26-564) | 関係課 | 観光局 | | |

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

| 政策体系 | 大項目(分野) | 中項目(政策の柱) | | 小項目(政策の方向性) | | 総合計画の指標 |
|-----------|---------------------------------|--------------|-------|---------------------------------|--|--------------------------------|
| | 2 | 経済・産業 | (6) | 多彩な観光資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進 | A | 食や自然環境など豊富な資源を活かした滞在交流型の観光地づくり |
| 北海道創生総合戦略 | A3311,A3312,A3313,A3331 | 北海道 強靱化計画 | B1731 | 新・北海道 ビジョン | C00401,C00402,C00403,C00405,C00406,C00502,C00503,C00601,C00607,C00608,C00610,C00611,C00612 | |
| 特定分野別計画等 | 北海道観光のくにつくり行動計画、北海道外国人観光客来訪促進計画 | | | | | |

1 目標等の設定

| | | | |
|-------|--|------|--|
| 現状と課題 | <p>・北海道は、世界自然遺産の知床をはじめとする豊かな自然環境、四季折々の彩り鮮やかな景観、心を癒す温泉や新鮮な食、地域の風土や歴史が育んだ生活・文化などが大きな魅力となって、国内外から多くの観光客が訪れている。</p> <p>・本道を訪れる観光客が特定の時期や地域に偏る傾向があることや、今後の人口減少の進展による国内観光市場の縮小などが懸念されている。</p> <p>・これまで本道観光を支えてきたかけがえのない自然環境の保全に努めながら、安全・安心に配慮した受入環境を整え、北海道の魅力ある観光資源を活用した滞在型観光地づくりを進めることにより、「世界が憧れる観光立国北海道」をめざしていくことが必要である。</p> | 施策目標 | <p>・さらなる観光による経済効果を高めていく上からも、道内における滞在日数、各観光地における滞在時間を伸ばしていくことが重要となっている。</p> <p>・世界自然遺産などをはじめ、北海道が世界に誇る自然や環境を守り育てながら、温泉や食をはじめ、伝統や生活、文化など豊かな資源を最大限に活用するとともに、質の高いサービスを提供して、繰り返し訪れ、安心してゆっくりと滞在できる北海道らしい魅力ある観光地づくりを促進する。</p> |
|-------|--|------|--|

| | 政策体系 | 役割等 | 政策体系 | 役割等 | 施策の予算額 | |
|---|-------------------------|---|--|------|--------|---------|
| | 施策の 推進体制 (役割・取組等) | 2(6)A | 〔道〕 ・地域の資源や特性からテーマ性などを見だし、戦略的なプランのもとに観光地づくりを進めていく。 〔(公社)北海道観光振興機構〕 ・本道観光の中核的推進組織として、道と一体となって、民間組織としての感覚や発想を生かしつつ、機動性と専門性を発揮し、北海道観光の振興に向けた取組を積極的に展開していく。 | | | H27 |
| 〔民間〕 ・一次産業をはじめ、地域の他産業との連携による地元食材の提供や地域特産品の開発といった、観光にかかわる地産地消の推進に取り組む。 | | | | | H28 | 292,469 |
| 〔市町村〕 ・観光振興の主体として、地域の資源を生かした多様な観光商品づくり、ホスピタリティの向上や人材育成に取り組むとともに、様々な産業の連携・協力が円滑に進むよう、調整に努めていく。 〔札幌市・道〕 ・道内交通の拠点である札幌駅における観光案内所の運営 | | | | | H29 | 711,831 |
| 今年度の 取組 | 政策体系 | 今年度の取組 | | 政策体系 | 今年度の取組 | |
| | 2(6)A | <p>◎地域の事業者や観光協会等が連携して取り組む、観光資源の掘り起こし、磨き上げによる多様な観光商品づくりや広域的な観光地づくりに対して支援</p> <p>◎北海道への教育旅行の誘致を促進するため、受入体制整備や商品づくりなど、地域の広域的な取組を支援</p> <p>◎広域観光周遊ルートを形成する道北・道東エリアにおける観光客の増大などにつなげるため、外国人観光客向けの滞在モデルやサービスの企画・検討等の取組を実施</p> <p>◎観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす「日本版DMO」の道内における形成を促進するため、道内各地におけるDMOの確立に向けた取組を支援するとともに、広域連携DMO候補法人の登録を受けた観光振興機構のマーケティング力を強化する。</p> <p>◎LCCの道内地方空港への就航条件や効果などを調査・検証し、誘客活動に活用することで、LCCの道内地方空港への新規就航を促進</p> | | | | |
| | 2(6)A | <p>◎今後増加が期待される海外や道外からの観光客に対し、効果的に情報発信をするため、北海道観光の魅力をアピールする情報拠点を首都圏に設置し、旅行相談や観光情報の提供を実施</p> <p>◎札幌市と共同で札幌駅において「北海道さっぽろ「食と観光」情報館」を運営</p> <p>◎外国人観光客の円滑な受入を促進するため、本道の主要な玄関口である新千歳空港に国際観光案内所を設置し、多言語による旅行相談や観光情報の提供を実施</p> <p>◎北海道の観光振興を図るため、人手不足、人材の定着が課題となっている宿泊業と貸切バス業の人材育成を支援</p> <p>◎個人旅行の道外客、外国人観光客などをターゲットに道央から道北・道東の主要観光地を巡る、新規のツアーバスの実証実験を行い、観光地を周遊するための二次交通の整備・充実を図り、道北・道東への誘客を促進</p> <p>◎ハンディキャップのある方々が道内を快適に旅行できるバリアフリー観光を推進するための指針づくりに向けた調査を実施</p> | | | | |

<前年度意見への対応>

| 前年度 付加意見 (二次政策 評価にお ける付加 意見の内 容) | | 付加意見 への所管 部局の対 応 (H29年3月 末時点) | |
|--|--|--|--|
| | | | |

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

| 政策体系 | 実績と成果等 | 関連する計画等 | | | 更に取組が必要な事項 |
|-------|--|-------------------|--------------|---|------------|
| | | 北海道創生 総合戦略 | 北海道強靱 化計画 | 新・北海道ビ ジョン | |
| 2(6)A | 地域の魅力ある観光資源を活用した旅行商品開発や受入体制整備の取組を支援し、地域資源を活用した新たな商品づくりが14地域、受入体制整備が14地域で行われた。 | A3311,A3313,A3331 | | C00401,C00403,C00502,C00503 | |
| 2(6)A | バス運転手育成確保のための研修やバス乗務員を対象としたスキルアップセミナー等を実施し、事業を通じて15名のバス運転手の新規雇用が実現するなど一定の効果があつた。また、宿泊業への理解促進と働く意欲喚起を目指したインターンシップや新入社員・派遣社員合同研修等の実施し、研修の機会が少ない宿泊業の実態を踏まえた研修は、参加者からも好評であり、インターンシップ後に3名の学生がホテルに就職するなど一定の効果があつた。 | A3312,A3313 | | C00601 | |
| 2(6)A | 教育旅行誘致に向けた情報発信や教育旅行関係者に対するプロモーション等を実施するとともに、道内のモデルコースに道外の旅行代理店や教育旅行関係者を招へいすることにより、地域が作成したモデルコースの検証及び広域的な連携による受入体制づくりが進むとともに、モデルコースの磨き上げが図られた。 ・道外プロモーション ・教育旅行関係者の招へい | A3311 | | C00401,C00402 | |
| 2(6)A | 今後、増加が期待される海外や道外からの観光客に対し、効果的に情報発信するため、道及び札幌市は、道・市連携により「どさんこ旅サロン」を東京有楽町に設置し旅行相談や観光情報の提供を行っている。 | A3311 | | C00401,C00402 | |
| 2(6)A | 国際観光周遊ルートの取組を支援し、地域の魅力ある観光資源を活用したルート形成の取組が8地域で行われた。 | A3311,A3313,A3331 | | C00401,C00403,C00502,C00503 | |
| 2(6)A | 「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」が観光庁から広域観光周遊ルート形成計画の認定を受け、受入環境整備・交通アクセスの円滑化、滞在コンテンツの充実等を実施した。 | A3311,A3313,A3331 | | C00401,C00405,C00406,C00601,C00607,C00608,C00610,C00612 | |

| | | | | | |
|-------|--|-------------------|--|--------|--|
| 2(6)A | 札幌市と共同で、札幌駅西コンコースの「北海道さっぽろ「食と観光」の情報館」内にある「北海道さっぽろ観光案内所」を運営し、来道観光客の相談対応を行った。(案内所利用者数:147, 254名) | A3312 | | C00501 | |
| 2(6)A | 観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす「日本版DMO」の道内における形成を促進するため、道内各地におけるDMOの確立に向けた取組を支援するとともに、広域連携DMO候補法人の登録を受けた観光振興機構のマーケティング力の強化を図るため、ホームページのデータ分析等を実施している。 | A3311,A3313,A3332 | | | |
| 2(6)A | LCCの道内地方空港への新規就航の促進を図るため、LCCの道内地方空港への就航条件や効果などを調査・検証している。 | A3312,A3313,A3331 | | | |
| 2(6)A | 新千歳空港に国際観光案内所を設置し、多言語による旅行相談や観光情報の提供を実施 ・カウンターにおける問合せ対応 ・観光パンフレット等による対応 | A3312 | | C00604 | |
| 2(6)A | 個人旅行の道外客、外国人観光客などをターゲットに道央から道北・道東の主要観光地を巡る、新規のツアーバスの実証実験を、観光地を周遊するための二次交通の整備・充実を図り、道北・道東への誘客を促進を図った。 | A3312,A3313,A3331 | | | |
| 2(6)A | ハンディキャップのある方々が道内を快適に旅行できるバリアフリー観光を推進するための指針づくりに向けた調査を実施している。 | A3311 | | | |
| 2(6)A | (IRに係る検討について) ・海外事業者との意見交換、現地視察、道民説明会の開催。 | A3313 | | C00612 | |

| (2) その他の取組の成果等 | | | | | |
|----------------|---|-------------|--|--|---|
| 国等提案・要望状況 | 急増する外国人観光客などの受入体制整備のため、人手不足や人材の定着が課題となっているバス運転者や宿泊業従事者など観光産業に従事する者の育成・確保の取組に対する支援制度の拡充を国に要望を行った。(平成29年7月) 外国人観光客が集中しているゴールデンルートから地方への分散化を目的に認定された道内2つの広域観光周遊ルートの形成を促進し、国の目指す「観光先進国」化に貢献するため、財政的支援の拡充を図るよう国に要望を行った。(平成29年7月) 観光地づくりを担う主体としての日本版DMOの形成・確立を促進するため、各種データの収集・分析、戦略策定、専門人材の確保など、日本版DMO候補法人に対する総合的な財政支援制度を創設するよう国に要望を行った。(平成29年7月) | 施策に関する道民ニーズ | | | 北海道観光の中核的な組織である北海道観光振興機構から、人材育成・サービス向上、観光開発・振興、広報・プロモーションなどを要望事業として取りまとめた「北海道観光に関する平成29年度事業予算の要望」を受け、平成29年度予算編成の中で事業の具体化に努めた。(平成28年11月) |

平成29年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|----------------|-------|---------|
| 施策名 | 滞在交流型観光地づくりの推進 | 施策コード | 05 - 04 |
|-----|----------------|-------|---------|

| | |
|---------------------------------------|-----------------|
| Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価 |
|---------------------------------------|-----------------|

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

| 政策体系 | 連携内容 | 連携先 | | 取組の実績と成果 |
|-------|---|-------|----------------|--|
| | | 施策コード | 関係部・関係課 | |
| 2(6)A | ・新幹線や海外との航路・航空路の拡充により期待される国内外からの誘客を一層促進するため、新千歳空港の国際拠点空港化の促進をはじめ、鉄道、航空路、航路といった基幹的な交通ネットワークや交通基盤の充実を図る。 ・クルーズ客船の寄港誘致に向け、庁内関係部局との連携により取組を推進する。 | N0204 | 総合政策部交通政策局・航空局 | 平成29年度の航空ネットワーク検討会議に航空局参事が出席。北海道の航空ネットワーク形成の考え方や各空港のめざす姿とその実現に向けた方策などについて、航空局と情報共有。 |
| | | | | |
| | | | | |
| - | 都市住民との交流促進により農村の地域活性化を図るため、関係部と連携しながらグリーン・ツーリズム(滞在型余暇活動)を推進する。 | N0605 | 農政部農村設計課 | 観光局、農政部が連携し、グリーンツーリズムに関する情報収集及びHPでの情報発信を行った。 |
| | | | | |
| | | | | |
| - | 滞在型に向けた観光地づくりのため、「北海道グリーン・ツーリズム推進庁内連絡会議」を設置し、道におけるグリーン・ツーリズム推進施策の円滑な実施に資するため、庁内各部や他地域との連携、様々な主体との協力により、四季を通じた豊富な観光資源を活用し、ゆっくりと滞在して四季それぞれの良さを堪能できる、多様な楽しみ方を提供する魅力的な観光地づくりを進める。 | N0605 | 農政部農村設計課 | 観光局、農政部、水産林務部などが参画する「北海道グリーン・ツーリズム推進庁内連絡会議」を平成29年5月に開催し、滞在型観光地づくりのため各部が連携した施策を効果的に推進するための情報交換を行った。 |
| | | - | 水産林務部 | |
| | | | | |
| - | 「食と観光」を中心とした産業間連携を一層強化し、力強い経済を確立するため、「食と観光」の促進のための連携会議を設置し、「食と観光」が連携した施策を効果的に推進する。 | N0501 | 経済部食関連産業室 | 本年度は、次期「北海道観光のくまにづくり行動計画」の策定年であり、食分野施策との連携に向け、今後のスケジュール等を情報提供。 |
| | | | | |
| | | | | |

| 政策体系 | 連携内容 | 連携先 | | 取組の実績と成果 |
|------|---|-------|------------------------|--|
| | | 施策コード | 関係部・関係課 | |
| - | 「民泊」への対応に関して、庁内横断の「北海道にふさわしい民泊のあり方検討会」に参画し、現在、民泊に関して国が策定している新法や各部の取組み状況の情報交換、今後民泊を道内で実施していくにあたり考えられる問題点に関して検討を行う。 | N0207 | 総合政策部地域創生局地域政策課 | 「民泊」への対応に関して、庁内横断の「北海道にふさわしい民泊のあり方検討会」に参画し、国の動きや各部の取組みなどを把握しながら、北海道にふさわしい民泊のあり方(まちなか民泊とふれあい民泊)に関して検討を行った。 また、平成29年6月に公布された「住宅宿泊事業法」では、都道府県が日数制限条例を制定することができることや、届出受理事務及び指導監督事務を行うこととされていることから、関係部局が連携して対応を進めているところ。 |
| | | N0409 | 保健福祉部健康安全局食品衛生課 | |
| | | N0605 | 農政部農村指向局農村設計課 | |
| | | N0801 | 建設部住宅局建設指導課 | |
| | | - | 総務部危機対策局危機対策課、総合政策部政策局 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

| 連携内容 | 連携先 | 取組の実績と成果 |
|--|-----|--|
| <p>札幌市と共同で、札幌駅西コンコースにおいて「北海道さっぽろ「食と観光」情報館」を運営する。東京・有楽町において「どさんこ旅サロン」を設置し、旅行相談や観光情報の提供を行っている。</p> | 札幌市 | <p>札幌市と共同で、札幌駅西コンコースの「北海道さっぽろ「食と観光」の情報館」内にある「北海道さっぽろ観光案内所」を運営し、来道観光客の相談対応を行った。(案内所利用者数:147,254名)</p> <p>同じく、東京・有楽町において「どさんこ旅サロン」を設置し、旅行相談や観光情報の提供を行っている(利用者数: 記載願います 9,042人)</p> |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

平成29年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|----------------|-------|---------|
| 施策名 | 滞在交流型観光地づくりの推進 | 施策コード | 05 - 04 |
|-----|----------------|-------|---------|

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

| 主① | 指標名 | 目標の基準 | | 今年度の目標 | | 最終目標 | | 達成度合 | B | 評価年度 | H27 | 達成度合の分析 ほか |
|---|------|---------|---------|--------|---------|---------------|---------|---------|---------|---------|---|---|
| | | 基準年度 | H22 | 年度 | H29 | 最終年度 | H37 | | | | | |
| 観光消費額(道内容1人当たり) | | 基準年度 | H22 | 年度 | H29 | 最終年度 | H37 | 達成度合 | B | 評価年度 | H27 | 達成度合の分析 ほか ・中間年の目標は設定していないため、本指標の達成度合については総合計画における進捗の目安として目標値を設定している。 ・滞在交流型観光地づくりに向けた取組や好調な経済動向などにより、目標達成に向け順調に推移していると考えられる。 |
| | | 基準値 | 13,271 | 目標値 | 14,000 | 最終目標値 | 15,000 | 年度 | H27 | H28 | 進捗率 | |
| 【指標の説明】 道内、国内、海外からの観光客が道内での観光1回に消費した平均額(1人当たり) | 根拠計画 | 政策体系 | | 増減方向 | 達成率の算式 | | 目標値 | 13,591 | - | 15,000 | 達成度合の分析 ほか ・中間年の目標は設定していないため、本指標の達成度合については総合計画における進捗の目安として目標値を設定している。 ・滞在交流型観光地づくりに向けた取組や好調な経済動向などにより、目標達成に向け順調に推移していると考えられる。 | |
| | | 北海道総合計画 | | 2(6)A | 増加 | (実績値/目標値)×100 | | 実績値 | 12,865 | - | | 12,865 |
| | | | | | | | 達成率 | 94.7% | - | 85.8% | | |
| 主② | 指標名 | 目標の基準 | | 今年度の目標 | | 最終目標 | | 達成度合 | A | 評価年度 | H27 | 達成度合の分析 ほか |
| | | 基準年度 | H22 | 年度 | H29 | 最終年度 | H37 | | | | | |
| 観光消費額(道外客1人当たり) | | 基準年度 | H22 | 年度 | H29 | 最終年度 | H37 | 達成度合 | A | 評価年度 | H27 | 達成度合の分析 ほか ・中間年の目標は設定していないため、本指標の達成度合については総合計画における進捗の目安として目標値を設定している。 ・滞在交流型観光地づくりに向けた取組や好調な経済動向などにより、目標達成に向け順調に推移していると考えられる。 |
| | | 基準値 | 69,670 | 目標値 | 74,000 | 最終目標値 | 79,000 | 年度 | H27 | H28 | 進捗率 | |
| 【指標の説明】 道内、国内、海外からの観光客が道内での観光1回に消費した平均額(1人当たり) | 根拠計画 | 政策体系 | | 増減方向 | 達成率の算式 | | 目標値 | 72,762 | - | 79,000 | 達成度合の分析 ほか ・中間年の目標は設定していないため、本指標の達成度合については総合計画における進捗の目安として目標値を設定している。 ・滞在交流型観光地づくりに向けた取組や好調な経済動向などにより、目標達成に向け順調に推移していると考えられる。 | |
| | | 北海道総合計画 | | 2(6)A | 増加 | (実績値/目標値)×100 | | 実績値 | 73,132 | - | | 73,132 |
| | | | | | | | 達成率 | 100.5% | - | 92.6% | | |
| 主③ | 指標名 | 目標の基準 | | 今年度の目標 | | 最終目標 | | 達成度合 | A | 評価年度 | H27 | 達成度合の分析 ほか |
| | | 基準年度 | H22 | 年度 | H29 | 最終年度 | H37 | | | | | |
| 観光消費額(外国人1人当たり) | | 基準年度 | H22 | 年度 | H29 | 最終年度 | H37 | 達成度合 | A | 評価年度 | H27 | 達成度合の分析 ほか ・中間年の目標は設定していないため、本指標の達成度合については総合計画における進捗の目安として目標値を設定している。 ・特に、中国人観光客の旺盛な消費意欲などにより、実績値が目標を大きく超える水準で推移していると考えられる。 |
| | | 基準値 | 122,128 | 目標値 | 155,000 | 最終目標値 | 209,000 | 年度 | H27 | H | 進捗率 | |
| 【指標の説明】 道内、国内、海外からの観光客が道内での観光1回に消費した平均額(1人当たり) | 根拠計画 | 政策体系 | | 増減方向 | 達成率の算式 | | 目標値 | 145,608 | - | 209,000 | 達成度合の分析 ほか ・中間年の目標は設定していないため、本指標の達成度合については総合計画における進捗の目安として目標値を設定している。 ・特に、中国人観光客の旺盛な消費意欲などにより、実績値が目標を大きく超える水準で推移していると考えられる。 | |
| | | 北海道総合計画 | | 2(6)A | 増加 | (実績値/目標値)×100 | | 実績値 | 178,102 | - | | 178,102 |
| | | | | | | | 達成率 | 122.30% | - | 85.2% | | |

| 関① 指標名 | 目標の基準 | | 今年度の目標 | | 最終目標 | | 達成度合 | C | 評価年度 | H28 | 達成度合の分析 ほか |
|---|-----------|-------|--------|-------|---|-------|------|--------|-------|-------|--|
| | 基準年度 | H25 | 年度 | H29 | 最終年度 | H32 | | | | | |
| 宿泊延べ数(万人泊) | 基準年度 | H25 | 年度 | H29 | 最終年度 | H32 | 達成度合 | C | 評価年度 | H28 | 中間年の目標は設定していないため、本指標の達成度合については総合計画における進捗の目安として目標値を設定している。 ・平成27年度の観光入込客数が年度比5.6%上昇したことに伴い宿泊延べ数も増加しているが、平成28年度の目標には達しなかった。 |
| | 基準値 | 3,215 | 目標値 | 3,663 | 最終目標値 | 4,000 | 年度 | H27 | H28 | 進捗率 | |
| [指標の説明] 宿泊客の延べ人数(国内及び外国人) ※H29年度の目標値は、H37年度の最終目標とは異なり、参考値である。 | 根拠計画 | | 政策体系 | 増減方向 | 達成率の算式 | | 目標値 | 3,439 | 3,551 | 4000 | |
| | 北海道創生総合戦略 | | 2(6)A | 増加 | $\frac{((\text{実績値}-\text{基準値})/(\text{目標値}-\text{基準値})) \times 100}{}$ | | 実績値 | 3,471 | 3,498 | 3471 | |
| | | | | | | | 達成率 | 114.0% | 84.2% | 86.8% | |

| ● 本施策に成果指標を設定できない理由 | ● 達成度合について | | | | | |
|---------------------|-------------|--------|-----------------|----------------|-------|------|
| | 達成度合 | A | B | C | D | - |
| | 直近の成果指標の達成率 | 100%以上 | 90%以上 100%未満 | 80%以上 90%未満 | 80%未満 | 算定不可 |

平成29年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|----------------|-------|---------|
| 施策名 | 滞在交流型観光地づくりの推進 | 施策コード | 05 - 04 |
|-----|----------------|-------|---------|

Plan 施策推進計画(事務事業)(目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式2)

Do and Check

4 事務事業の設定

24

4-2 事務事業の評価

| 整理番号 | 政策体系 | 指標 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局 室名 | 前年度からの 繰越事業費 (千円) | 平成29年度 | | | | | 創生 総合 戦略 | 強靱 化計 画 | 新・ 北海 道ビ ジョン | 前年度 付加意見 | 付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点) | 一次政策評価 | | | |
|------|-------|----------|--|---|-----------|-------------------------|-------------|----------------|------|------|-----|----------------|---------------|-----------------------|-------------|----------------------------------|-------------------|-----------------------------|----------|-----|
| | | | | | | | 事業費 (千円) | うち 一般財 源 | 執行体制 | | | | | | | | フル コスト (千円) | 点検事項 | | 方向性 |
| | | | | | | | | | 本庁 | 出先機関 | 人工計 | | | | | | | 付加意見への 所管部局の対応 (評価時点) | 推進 事項 | |
| 0301 | 2(6)A | | その他内部管理 事務 | 予算決算、文書管理、議会 対応、職員の人事・服務・給 与・福利厚生、物品管理、広 報広聴、陳情要望、政策評 価、企画立案など、局内の内 部管理に関する事務全般 | 観光局 | | 0 | | 6.5 | 0.0 | 6.5 | 52,000 | | | | | | | 現状維持 | |
| 0302 | 2(6)A | 主① ~③ | 観光地づくり推進 費(北海道さつぼ る「食と観光」情 報館運営費) | 北海道が高い競争力を持つ 「食」と「観光」の分野におい て、その魅力をアピールする 総合情報拠点として札幌市と の連携により整備した「食と 観光」情報館の運営経費 | 観光局 | | 37,364 | 22,239 | 0.3 | 0.0 | 0.3 | 39,764 | ○ | | ○ | | | | 現状維持 | |
| 0303 | 2(6)A | | 観光ホスピタリ ティ運動に関する 事務 | 北海道を訪れる観光客が北 海道に好印象を持ち、「また 来たい」という満足感が得ら れるよう、道民総ぐるみ運動 として展開。 | 観光局 | | 0 | | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 1,600 | | | ○ | | | | 現状維持 | |
| 0304 | 2(6)A | | 地域イベントに関 する事務 | 地域イベントに係る後援名義 依頼、役員就任、行事への 出席、キャンペーン支援 | 観光局 | | 0 | | 0.3 | 0.0 | 0.3 | 2,400 | | | ○ | | | | 現状維持 | |
| 0305 | 2(6)A | | 赤れんが情報 コーナーの管理 に関する事務 | 赤れんが庁舎を訪れる観光 客に対して、情報コーナーに おいてパンフレット等により 北海道観光をPRする。 | 観光局 | | 0 | | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 1,600 | | | ○ | | | | 現状維持 | |
| 0306 | 2(6)A | 主① ~③ | ホスピタリティ向 上事業 | 道内観光地の「おもてなし 力」の評価・改善に取り組 み、観光客の満足度の向上 やリピーターの拡大を図ると ともに、観光事業者の「おも てなし」意識の醸成を図るた め、観光業界が一体となって 「イランカラブテ」キャンペ ーンを展開する。 | 観光局 | | 4,697 | 4,697 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 5,497 | ○ | | ○ | | | | 拡充 | |

| 整理番号 | 政策体系 | 指標 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局 室名 | 前年度からの 繰越事業 費 (千円) | 平成29年度 | | | | | 創生 総合 戦略 | 強 靱 化 計 画 | 新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン | 前年度 付加意見 | 付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点) | 一次政策評価 | | | |
|------|-------|----------|---|---|-----------|-----------------------------|-------------|----------------|------|------|-----|----------------|-----------------------|---------------------------------------|-------------|----------------------------------|-------------------|-----------------------------|------------------|-----|
| | | | | | | | 事業費 (千円) | うち 一般財 源 | 執行体制 | | | | | | | | フル コスト (千円) | 点検事項 | | 方向性 |
| | | | | | | | | | 本庁 | 出先機関 | 人工計 | | | | | | | 付加意見への 所管部局の対応 (評価時点) | 推 進 事 項 | |
| 0307 | 2(6)A | 主① ～③ | 観光商品づくり開 発コンペ事業 | 大学生を対象とした北海道 観光に係る企画コンペを実 施し、優秀な作品は商品化・ 事業化につなげるなど、将来 の北海道観光をリードする人 材を育成する。 | 観光局 | | 4,104 | 4,104 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 4,904 | ○ | | | | | | 拡充 | |
| 0308 | 2(6)A | 主① ～③ | 地域創生人材育 成事業(北海道 観光を支える人 材の育成・確保 事業) | 人手不足や人材の定着が課 題となっている宿泊業と賞切 バス業の人材育成・確保を 支援し、急増する外国人観 光客の対応も踏まえた観光 の受入基盤を整備する。 | 観光局 | | 0 | | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 800 | ○ | | | | | | 縮小 | |
| 0309 | 2(6)A | 主① ～③ | 地域観光活性化 促進事業 | 地域の観光協会や団体が主 体的・自発的に連携して取り 組む事業に対しアドバイスや プロモーションを行うなど一 環した支援を行い、観光の通 年化や広域連携を促進す る。 | 観光局 | | 81,024 | 81,024 | 0.6 | 0.9 | 1.5 | 93,024 | ○ | | | | | | 拡充 | |
| 0310 | 2(6)A | 主① ～③ | 広域観光推進事 業 | 地域の観光従事者などが連 携して行う地域の特性を生か した観光資源の掘り起こし・ 磨き上げによる多様な観光 商品づくりの取組に対し、企 画段階からメディアへのPR、 旅行会社へのセールスまで 一貫した支援を行う。 | 観光局 | | 108,363 | 108,363 | 0.7 | 1.0 | 1.7 | 121,963 | ○ | | | | | | 拡充 | |
| 0311 | 2(6)A | 主① ～③ | 日本版DMO形成 促進事業 | 観光地経営の視点に立った 観光地づくりの舵取り役と しての役割を果たす「日本版 DMO」の道内における形成を 促進する。 | 観光局 | | 16,607 | 8,304 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 17,407 | ○ | | | | | | 拡充 | |
| 0312 | 2(6)A | 主② ～③ | 北海道周遊大動 脈形成実証事業 | 個人の道外客、外国人観光 客などをターゲットに道央か ら道北・道東の主要観光地を 巡る、乗り降り自由な新規の バスツアーの実証実験を行 い、観光地を周遊するための 二次交通の整備、充実を図 り、地域格差の解消を図る。 | 観光局 | | 97,405 | 97,405 | 0.6 | 0.0 | 0.6 | 102,205 | ○ | | | | | | 現状維持 | |

| 整理番号 | 政策体系 | 指標 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局 室名 | 前年度からの 繰越事業 費 (千円) | 平成29年度 | | | | | 創生 総合 戦略 | 強 靱 化 計 画 | 新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン | 前年度 付加意見 | 付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点) | 一次政策評価 | | | |
|------|-------|----|------------------------------|---|-----------|-----------------------------|-------------|----------------|------|------|-----|----------------|-----------------------|---------------------------------------|-------------|----------------------------------|-------------------|-----------------------------|----------|------|
| | | | | | | | 事業費 (千円) | うち 一般財 源 | 執行体制 | | | | | | | | フル コスト (千円) | 点検事項 | | 方向性 |
| | | | | | | | | | 本庁 | 出先機関 | 人工計 | | | | | | | 付加意見への 所管部局の対応 (評価時点) | 推進 事項 | |
| 0313 | 2(6)A | 主③ | 広域観光周遊 ルートビジネスモ デル形成事業 | 観光庁認定の道北・道東エリ アにおける広域観光周遊 ルート形成に基づき、外国人 観光客向けの新しい滞在モ デルやサービスの企画・検討 等を行う。 | 観光局 | | 26,990 | 13,495 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 30,990 | ○ | | | | | | 現状維持 | |
| 0314 | 2(6)A | 主③ | インバウンド受入 体制整備事業 | 外国人観光客の円滑な受入 を促進するため、道内各地域 で中心となって活動している 観光人材を対象に、プロモー ションと受入を総合的にプロ デュースできるノウハウを習 得させることにより、地域の 自立的なインバウンドの受入 体制を整備する。 | 観光局 | | 11,729 | 5,865 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 14,929 | ○ | | | | | | | 縮小 |
| 0315 | 2(6)A | 主③ | 新千歳空港国際 観光案内所設置 事業 | 外国人観光客の円滑な受入 を促進するため、本道の主要 な玄関口である新千歳空港 に国際観光案内所を設置し、 多言語による観光情報を提 供する。 | 観光局 | | 26,764 | 26,764 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 29,964 | ○ | | | | | | | 現状維持 |
| 0316 | 2(6)A | 主③ | 実践的インバウ ンドおもてなし人 材育成事業 | 外国人観光客の受入を円滑 に進めるため、外国人観光 客受入れのための基礎研修 並びに小売 店、観光案内 所、交通機関、宿泊施設の 従業員及び通訳案内士等の 技能向上のための実践的な 短期・長期の研修を実施す る。 | 観光局 | | 30,962 | 15,481 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 34,962 | ○ | | | | | | | 縮小 |
| 0317 | 2(6)A | 主③ | インバウンド対応 観光ルート創出 事業 | 外国人観光客の満足度を高 める国際観光ルートを形成 し、地域への誘客を図るた め、複数の 地域が連携して 取り組む観光地づくりを支 援する。 | 観光局 | | 62,760 | 31,380 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 66,760 | ○ | | | | | | | 現状維持 |
| 0318 | 2(6)A | 主③ | 北海道MICE誘 致促進事業 | 本道へのコンベンション誘致 を一層促進するため、地域の 受入体制の充実を図るほ か、道外 のコンベンション主 催者等に対して商談会を開 催する。 | 観光局 | | 21,298 | 21,298 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 24,498 | ○ | | | | | | | 拡充 |

| 整理番号 | 政策体系 | 指標 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局 室名 | 前年度からの 繰越事業費 (千円) | 平成29年度 | | | | | 創生 総合 戦略 | 強 靱 化 計 画 | 新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン | 前年度 付加意見 | 付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点) | 一次政策評価 | | | |
|------|-------|----------|------------------------------------|--|-----------|-------------------------|-------------|----------------|------|------|------|----------------|-----------------------|---------------------------------------|--|----------------------------------|---|-----------------------------|----------|-----|
| | | | | | | | 事業費 (千円) | うち 一般財 源 | 執行体制 | | | | | | | | フル コスト (千円) | 点検事項 | | 方向性 |
| | | | | | | | | | 本庁 | 出先機関 | 人工計 | | | | | | | 付加意見への 所管部局の対応 (評価時点) | 推進 事項 | |
| 0319 | 2(6)A | 主③ | 北海道LOVERS 拡大推進事業 | 閑散期の観光情報や道央圏以外の魅力を情報発信し、北海道観光のファン(北海道LOVERS)を増加させることにより、外国人観光客の平準化及び広域拡散化を促進する。 | 観光局 | | 37,858 | 18,929 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 41,058 | ○ | ○ | 来年度の事業構築に当たっては、海外での情報発信に当たり、同一国で展開する食や観光のWEB、SNSとの相互連携を検討すること。 | 同一国で展開する情報発信の際は、関係部局と情報共有を図っていく。 | 北海道観光振興機構が運用するSNSを活用し、同一国での情報発信・展開を図った。 | | 現状維持 | |
| 0320 | 2(6)A | 主③ | クロスメディア観 光プロモーション 事業 | 誘致対象市場の特性に応じて、複数メディアを組み合わせるクロスメディアの手法により北海道の情報を発信し、外国人観光客の誘客を促進する。 | 観光局 | | 18,616 | 18,616 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 21,816 | ○ | ○ | 来年度の事業構築に当たっては、海外での情報発信に当たり、同一国で展開する食や観光のWEB、SNSとの相互連携を検討すること。 | 同一国で展開する情報発信の際は、関係部局と情報共有を図っていく。 | 北海道上海事務所が運用するSNSとの情報共有・相互連携を図った。 | | 拡充 | |
| 0321 | 2(6)A | 主① ～③ | DMO取得に向け たマーケティング 強化事業 | 観光振興機構のホームページの積極的活用など、日本版DMO候補法人の登録を受けた機構のマーケティング力を強化する。 | 観光局 | | 51,180 | 25,590 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 51,180 | ○ | ○ | | | | | 現状維持 | |
| 0322 | 2(6)A | 主③ | きた北海道広域 観光周遊ルート 地域観光創出事 業 | 「きた北海道広域観光周遊ルート」への誘客を図るため、観光商品の開発や乗継交通機関の試験運行、プロモーションを実施する。 | 観光局 | | 51,707 | 51,707 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 51,707 | ○ | ○ | | | | | 現状維持 | |
| 0323 | 2(6)A | 主② ～③ | LCC地方空港誘 致による誘客拡 大事業 | LCCの道内地方空港への就航条件や効果などを調査・検証し、誘客活動に活用することで、LCCの道内地方空港への新規就航を促進し、本道への観光客の一層の誘客拡大を図る。 | 観光局 | | 15,000 | 15,000 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 15,000 | ○ | ○ | | | | | 廃止 | |
| 0324 | 2(6)A | 主① ～③ | バリアフリー観 光推進事業 | ハンディキャップのある方が道内を快適に旅行できるバリアフリー観光を推進するための指針づくりに向けた調査を実施する。 | 観光局 | | 7,403 | 7,403 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 7,403 | ○ | ○ | | | | | 拡充 | |
| 計 | | | | | | 0.0 | 711,831 | 577,664 | 13.3 | 1.9 | 15.2 | 833,431 | | | | | | | | |

平成29年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|----------------|-------|---------|
| 施策名 | 滞在交流型観光地づくりの推進 | 施策コード | 05 - 04 |
|-----|----------------|-------|---------|

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

| 政策体系 | 達成度合の集計 | | | | | 判定 | 成果指標の分析 |
|-------|-------------|----------------------|---------------------|------------|-----------|-------|---|
| | A 100%以上 | B 90%以上 100%未満 | C 80%以上 90%未満 | D 80%未満 | - 算定不可 | | |
| 2(6)A | 2 | 1 | 1 | | | C指標あり | <p>【観光消費額(道内容1人あたり【B】、道外客1人あたり【A】、外国人1人あたり【A】)】 滞在交流型観光地づくりに向けた取組や好調な経済動向、中国人観光客の旺盛な消費意欲などにより、目標達成に向け順調に推移していると考えられる。</p> <p>【宿泊延べ数(C)】 ・平成27年度の観光入込客数が年度比5.6%上昇したことに伴い宿泊延べ数も増加しているが、平成28年度の目標には達しなかった。 ・豊かな資源を最大限に活用するとともに、質の高いサービスを提供して、繰り返し訪れ、安心してゆつくりと滞在できる北海道らしい魅力ある観光地づくりを進めることが必要。</p> |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| 計 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | C指標あり | |
| | 4 | | | | | | |

(2)取組の分析

| 基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの) | | 対応している (○あり→対応している) | 対応しているとする理由 |
|---|--|------------------------|---|
| 1 | 計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか | ○ | 世界が憧れる観光地づくりに向けて、地域や関係者と連携した、効果的な取組を行っている。 |
| 基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる) | | 取組がある (○あり→取組がある) | 取組があるとする理由 |
| 2 | 施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか | ○ | 道内2つの広域観光周遊ルートの形成を促進し、国の目指す「観光先進国」化に貢献するため、財政的支援の拡充を図るよう国に要望。状況の進捗が認められる。 |
| 3 | 道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか | ○ | 北海道観光振興機構から、人材育成・サービス向上、観光開発・振興、広報・プロモーションなどを要望を受け、施策立案の参考としている。 |
| 4 | 施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか | ○ | 北海道の航空ネットワーク形成の考え方や各空港のめざす姿とその実現に向けた方策などについて、関係部局と情報共有しており、施策の推進に役立てている。 |
| | 施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか | ○ | 札幌市と共同で札幌駅や東京での観光情報提供の拠点を運営している。 |
| 判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b) | | | a |

(3)総合評価

| 成果指標の分析 | 取組の分析 | 総合評価 |
|---------|-------|---------|
| 判定(計) | 判定 | |
| C指標あり | a | 概ね順調に展開 |

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

| 対応方針 | | | （関連する計画等） | | |
|------------|-------|--|---------------------------------|--------------|--|
| 対応方針 番号 | 政策体系 | 内 容 | 北海道創生 総合戦略 | 北海道強 靱化計画 | 新・北海道 ビジョン |
| ① | 2(6)A | 世界自然遺産などをはじめ、北海道が世界に誇る自然や環境を守り育てながら、温泉や食をはじめ、伝統や生活、文化など豊かな資源を最大限に活用するとともに、質の高いサービスを提供して、繰り返し訪れ、安心してゆっくりと滞在できる北海道らしい魅力ある観光地づくりを進めていく。 | A3311,A3312 ,A3313,A333 1 | B1731 | C00401,C00402,C00 403,C00405,C00406, C00502,C00503,C00 601,C00607,C00608, C00610,C00611,C00 612 |
| ② | | | | | |
| ③ | | | | | |
| ④ | | | | | |
| ⑤ | | | | | |
| ⑥ | | | | | |
| ⑦ | | | | | |
| ⑧ | | | | | |

平成29年度 基本評価調書

| | | | | | |
|-----|----------------|-------|----|---|----|
| 施策名 | 滞在交流型観光地づくりの推進 | 施策コード | 05 | — | 04 |
|-----|----------------|-------|----|---|----|

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

| | |
|---------|--|
| 付 加 意 見 | |
|---------|--|

（2）事務事業評価

| 意見区分 | 整理番号 | 事務事業名 | 二次政策評価意見 |
|------|------|-------|----------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

平成29年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|----------------|-------|---------|
| 施策名 | 滞在交流型観光地づくりの推進 | 施策コード | 05 - 04 |
|-----|----------------|-------|---------|

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

| 対応方針 番号 | 対 | 応 |
|------------|--|---|
| ① | <新たな取組等> 北海道が国際的に質や満足度の高い観光地となるよう、観光地域づくりの舵取り役として期待される日本版DMOの形成・確立に向けた支援を行うことや、観光客に滞在時間を延ばすため、地域の資源を活用したイベントの促進や滞在時間の長期化に向けた新たな観光商品の開発促進などの取組を進めていく。 （日本版DMO形成促進事業、広域観光周遊ルートビジネスモデル形成事業など） | |
| ② | | |
| ③ | | |
| ④ | | |
| ⑤ | | |
| ⑥ | | |
| ⑦ | | |
| ⑧ | | |

（2）二次評価結果への対応

| 意見区分 | 所管部局の対応 | 意見区分 | 所管部局の対応 |
|------|---------|------|---------|
| | | | |

平成29年度 基本評価調書

施策名

滞在交流型観光地づくりの推進

施策コード

05 — 04

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

| 区分 | 方向性 | 見直し検討 | 拡 充 | 現状維持 | 縮 小 | 統 合 | 廃 止 | 終 了 | 合 計 |
|------|-----|-------|------|-------|------|------|------|------|-------|
| 評価結果 | | 0 事業 | 8 事業 | 12 事業 | 3 事業 | 0 事業 | 1 事業 | 0 事業 | 24 事業 |
| 反映結果 | | - 事業 | 0 事業 | 21 事業 | 2 事業 | 0 事業 | 1 事業 | 0 事業 | 24 事業 |

| 次年度新規事業 (予定) |
|-----------------|
| 4 事業 |

| 整理番号 | 事務事業名 | 一次政策評価 結果(再掲) | H30年度の 方向性 |
|------|---------------------------------|------------------|---------------|
| 0301 | その他内部管理事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0302 | 観光地づくり推進費(北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営費) | 現状維持 | 現状維持 |
| 0303 | 観光ホスピタリティ運動に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0304 | 地域イベントに関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0305 | 赤れんが情報コーナーの管理に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0306 | ホスピタリティ向上事業 | 拡充 | 現状維持 |
| 0307 | 観光商品づくり開発コンペ事業 | 拡充 | 現状維持 |
| 0308 | 地域創生人材育成事業(北海道観光を支える人材の育成・確保事業) | 縮小 | 縮小 |
| 0309 | 地域観光活性化促進事業 | 拡充 | 現状維持 |
| 0310 | 広域観光推進事業 | 拡充 | 現状維持 |
| 0311 | 日本版DMO形成促進事業 | 拡充 | 縮小 |

| | | | |
|------|------------------------|------|------|
| 0312 | 北海道周遊大動脈形成実証事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0313 | 広域観光周遊ルートビジネスモデル形成事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0314 | インバウンド受入体制整備事業 | 縮小 | 現状維持 |
| 0315 | 新千歳空港国際観光案内所設置事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0316 | 実践的インバウンドおもてなし人材育成事業 | 縮小 | 現状維持 |
| 0317 | インバウンド対応観光ルート創出事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0318 | 北海道MICE誘致促進事業 | 拡充 | 現状維持 |
| 0319 | 北海道LOVERS拡大推進事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0320 | クロスメディア観光プロモーション事業 | 拡充 | 現状維持 |
| 0321 | DMO取得に向けたマーケティング強化事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0322 | きた北海道広域観光周遊ルート地域観光創出事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0323 | LCC地方空港誘致による誘客拡大事業 | 廃止 | 廃止 |
| 0324 | バリアフリー観光推進事業 | 拡充 | 現状維持 |